

～下田のデキゴト～



12/21 第2回防災講演会の開催

第2回防災講演会「軍師に学ぶ 防災の心得」を開催しました。元熊本県危機管理防災企画監の<sup>ありうらたかし</sup>有浦隆氏をお招きし、熊本地震で災害対応の責任者として陣頭指揮をとった実体験をもとに防災の心得を学びました。



1/11-12 早春の下田を歩き始め！

下田水仙ツーデーマーチが開催されました。全国から集まった延べ623名のウォーカーが、11日に水仙の咲き誇る爪木崎を楽しむコース、12日に吉田松陰先生の歴史を学ぶコースを歩き下田を満喫しました。



1/19 タスキに思いを込めて走り抜けた6区間

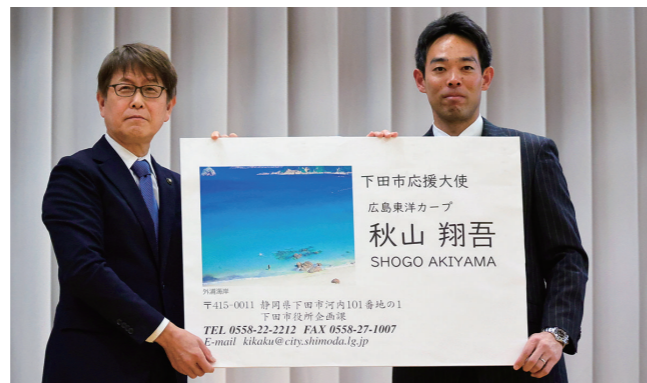
第53回下田・河津間駅伝競走大会が行われました。全36チームが激走を繰り広げ、各部門の優勝は、一般男子「フリーダム」、中学男子・女子「下田中学校」、高校男子「稲取高校」、一般・高校女子「下田高校陸上部」でした。

- 1月のできごと
- 7日 市内小中学校始業式
  - 12日 二十歳の集い
  - 15日 寿大学



1/4 消防団出初式

消防団出初式が下田小学校体育館にて行われました。団員143名の参加のもと、市長祝辞、団長訓示、各種表彰等が行われ、団員の士気高揚が図られました。乾燥するこの季節、火の元には十分に気を付けましょう。



1/13 秋山翔吾選手が下田市の応援大使に！

広島東洋カープ所属の秋山翔吾選手（プロ野球）が下田市応援大使を委嘱しました。少年野球の児童たちを対象にトークショーも開催され、終了後には記念撮影が行われるなど、交流を深めていました。



1/21 社明運動作文コンテスト受賞報告

第74回「社会を明るくする運動」作文コンテストで、中野敬太さん（浜崎小6年）が静岡県推進委員会委員長（<sup>なかのけいた</sup>県知事）賞最優秀賞を、鈴木穂香さん（<sup>すずきはるか</sup>稲梓小6年）が静岡県校長会会長賞特別賞を受賞されました。

- 17日 認知症カフェ～脳トレ体験及び個別相談会～
- 18日 海保フェスタ
- 25日 下田わくわくパークこれば！

地域子育て支援センター通信

問合せ先 地域子育て支援センター ☎2200



3月の予定

- 1日(土) 開館日
- 3日(月) ひなまつりの会
- 5日(水) めだかルーム 9時～11時30分
- 7日(金) わくわくタイム
- 10日(月) 体育館で遊ぼう 9時30分～11時  
場所：市民スポーツセンター
- 12日(水) あひるルーム うさぎルーム  
9時～11時30分
- 14日(金) 敷根公園で遊ぼう
- 15日(土) 開館日  
「まっちゃんと遊ぼう」10時～11時30分  
講師：町田浩志 <sup>まちだひろし</sup>  
場所：市民スポーツセンター
- 17日(月) 誕生会
- 24日(月) 発育測定・育児相談 9時～11時  
保健師・栄養士来所
- 28日(金) わくわくタイム
- 31日(月) 閉館（年度末事務整理日）



誕生会



あかちゃんとのふれあいタイム

立春も過ぎ、木々の芽も春の準備を始めているようです。子育て支援センターの花壇のチューリップの球根は芽を出し、春を心待ちにしています。この時期は体調管理が難しいので、手洗い・栄養・睡眠で元気に過ごせるようにしていきましょう。支援センターでは、換気や消毒をして衛生的で安全な環境を作り、皆さまをお待ちしています。



おたのしみパフォーマンス



ふれあい遊び

「隠しきれない移り香がいつしかあなたにしみついた」これは石川さゆりさんの「天城越え」。私がはじめて天城を越えたのは三十数年昔になる。これは松本清張の「天城越え」の冒頭。「道がつつら折りになつて、いよいよ天城峠に近づいたと思うころ」これはご存じの川端康成「伊豆の踊子」の冒頭ですね。私も野鳥の捕獲・飼育が許可されていたころ（30、40年も昔になりました）は、毎週末鳥もちと団（おとり）、弁当を抱え、天城峠道をくぐり天城山に出かけたものです。中学生時代は遠足で八丁池に出かけ、教師時代は生徒を引率して遠足定番の天城縦走。八丁池がとて広く感じられ、巨木「太郎杉」に圧倒されたことなどは、今でも鮮明な記憶として残ります。自然豊かな景観の継承、経済、商業、歴史、文化、そこから生まれた数々の作家、文学作品など、伊豆の玄関口から半島、伊豆南が天城山（旧天城トンネル）から受けた恩恵は計り知れません。

今、伊豆縦貫自動車道の開通に向けて、伊豆半島ももちと団（おとり）、弁当を抱え、天城峠道をくぐり天城山に出かけたものです。中学生時代は遠足で八丁池に出かけ、教師時代は生徒を引率して遠足定番の天城縦走。八丁池がとて広く感じられ、巨木「太郎杉」に圧倒されたことなどは、今でも鮮明な記憶として残ります。自然豊かな景観の継承、経済、商業、歴史、文化、そこから生まれた数々の作家、文学作品など、伊豆の玄関口から半島、伊豆南が天城山（旧天城トンネル）から受けた恩恵は計り知れません。

今、伊豆縦貫自動車道の開通に向けて、伊豆半島ももちと団（おとり）、弁当を抱え、天城峠道をくぐり天城山に出かけたものです。中学生時代は遠足で八丁池に出かけ、教師時代は生徒を引率して遠足定番の天城縦走。八丁池がとて広く感じられ、巨木「太郎杉」に圧倒されたことなどは、今でも鮮明な記憶として残ります。自然豊かな景観の継承、経済、商業、歴史、文化、そこから生まれた数々の作家、文学作品など、伊豆の玄関口から半島、伊豆南が天城山（旧天城トンネル）から受けた恩恵は計り知れません。

今、伊豆縦貫自動車道の開通に向けて、伊豆半島ももちと団（おとり）、弁当を抱え、天城峠道をくぐり天城山に出かけたものです。中学生時代は遠足で八丁池に出かけ、教師時代は生徒を引率して遠足定番の天城縦走。八丁池がとて広く感じられ、巨木「太郎杉」に圧倒されたことなどは、今でも鮮明な記憶として残ります。自然豊かな景観の継承、経済、商業、歴史、文化、そこから生まれた数々の作家、文学作品など、伊豆の玄関口から半島、伊豆南が天城山（旧天城トンネル）から受けた恩恵は計り知れません。

こんにちは、教育長です

天城越え